

# Management Spreadsheets マネジメント スプレッドシート

こちらの日本語版シラバスは、バーソルビジネスプロセスデザインが独自に翻訳をしたものです。許可なく複製、転用、または配布することを禁止いたします。

Microsoft® Excel®のような一般的な表計算アプリケーションの高度な機能（条件付き書式設定、演算、マクロ、ピボットテーブル等）を理解することで、より効率的にデータを管理できるようになるモジュールです。

1 書式設定		
カテゴリ	概要	
1.1 セル	1.1.1	条件付き書式を適用する。
	1.1.2	数値の書式でユーザー定義を作成し、適用する。
	1.1.3	テキストを列分割する。区切り位置を適用する。
1.2 ワークシート	1.2.1	ワークシートをコピーして、スプレッドシート間で移動する。
	1.2.2	ウィンドウを分割する。分割バーを移動、削除する。
	1.2.3	行、列、ワークシートを表示、または非表示にする。
	1.2.4	スプレッドシートをテンプレートとして保存する。テンプレートを修正する。

  

2 数式と関数		
カテゴリ	概要	
2.1 数式と関数の使用	2.1.1	日付と時刻の関数を使用する：today, now, day, month, year
	2.1.2	論理関数を使う：and, or, not
	2.1.3	数学関数を使う：rounddown, roundup, sumif
	2.1.4	統計関数を使う：countif, countblank, rank
	2.1.5	文字列操作関数を使う：left, right, mid, trim, concatenate
	2.1.6	財務関数を使う：fv, pv, pmt
	2.1.7	検索/行列関数を使う：vlookup, hlookup
	2.1.8	データベース関数を使う：dsum, dmin, dmax, dcount, daverage
	2.1.9	入れ子になった関数を作成する。
	2.1.10	合計、平均、最小、最大で3D参照（串刺し集計）を使う。
	2.1.11	数式で複合参照を使用する。

  

3 グラフ（チャート）		
カテゴリ	概要	
3.1 グラフ（チャート）の作成	3.1.1	複合グラフを作成する：縦棒グラフと折線グラフ、縦棒グラフと面グラフなど
	3.1.2	スパークラインの作成、変更、削除をする。
	3.1.3	グラフに第2軸を追加する。
	3.1.4	設定済みのデータ系列のグラフの種類を変更する。
	3.1.5	グラフにデータ系列の追加、削除をする。
3.2 グラフの書式設定	3.2.1	グラフのタイトル、凡例、データラベルの位置を変更する。
	3.2.2	数値軸の目盛りを変更する：最小値、最大値、主単位
	3.2.3	データソースを変更せずに、値軸の表示単位を変える（百、千、百万など）。
	3.2.4	列、棒、円グラフ、プロットエリア、グラフエリアの書式を設定し、画像を表示する。

  

4 分析		
カテゴリ	概要	
4.1 テーブルの使用	4.1.1	ピボットテーブル/データパイロットを作成、修正する。
	4.1.2	データソースを変更し、ピボットテーブル/データパイロットを更新する。
	4.1.3	ピボットテーブル/データパイロットでデータをフィルタリング、ソートする。
	4.1.4	ピボットテーブル/データパイロットのデータを手動または自動でグループ化し、グループ名を変更する。
	4.1.5	1つ、2つ、複数の入力値を使ってデータを分析する。
4.2 並び替えと絞り込み（ソートとフィルタリング）	4.2.1	複数列のデータを一度に並べ替える。
	4.2.2	カスタマイズリストを作成し、カスタムソートを実行する。
	4.2.3	リストを自動でフィルタリングする。
	4.2.4	リストに高度なフィルターオプションを適用する。
	4.2.5	自動、手動のアウトライン機能を使う：グループ化、グループ解除、小計
	4.2.6	アウトラインの詳細レベルを拡大、縮小する。
4.3 シナリオ	4.3.1	名前付きシナリオを作成する。
	4.3.2	シナリオの表示、編集、削除をする。
	4.3.3	シナリオ情報レポートを作成する。

5 検証と監査（データの入力規則）		
カテゴリ	概要	
5.1 検証	5.1.1	セル範囲にデータを入力する際の検証条件を設定、編集する。データの入力規則を適用する。
	5.1.2	入力メッセージとエラーアラートを入力する。
5.2 監査	5.2.1	参照元セル・参照先セルを追跡する。参照元セルを特定する。
	5.2.2	ワークシート内で、数式の演算結果の値ではなく、数式自体をすべて表示する。
	5.2.3	ワークシートのコメント/ノートをローカル、オンラインで挿入、編集、削除、表示、非表示にする。
6 生産性の向上		
カテゴリ	概要	
6.1 セルに名前を付ける	6.1.1	セル範囲に名前をつける。セル範囲の名前を削除する。
	6.1.2	関数で名前付きセル範囲を使用する。
	6.1.3	グループモードを有効化、無効化する。
6.2 特殊貼り付け	6.2.1	貼り付けの特殊機能を使う；足し算、引き算、掛け算、割り算
	6.2.2	貼り付けの特殊機能を使う；値/数値、行列入替
6.3 リンク、埋め込み、インポート	6.3.1	ハイパーリンクの挿入、編集、削除を行う。
	6.3.2	スプレッドシート内のデータやスプレッドシート間のデータをリンクする。
	6.3.3	テキストファイルから区切りデータを取り込む。
6.4 自動化	6.4.1	簡単なマクロを記録する。（ページ設定の変更、カスタム番号フォーマットの適用、セル範囲へのオートフォーマットの適用、ワークシートのヘッダーやフッターへのフィールドの挿入など）
	6.4.2	マクロを実行する。
	6.4.3	カスタムボタンにマクロを割り当てる。
7 共同編集		
カテゴリ	概要	
7.1 校閲とセキュリティ	7.1.1	スプレッドシートを比較・統合する。
	7.1.2	スプレッドシートを開いたり編集したりするためにパスワード保護を追加、削除する。
	7.1.3	セルやワークシートをパスワードで保護する。パスワードによる保護を解除する。
	7.1.4	数式を非表示にする。非表示を解除する。